

記者発表資料

平成22年度  
土砂災害防止月間について

平成22年5月27日  
国土交通省 四国地方整備局  
四国山地砂防事務所

問い合わせ先  
国土交通省 四国地方整備局  
四国山地砂防事務所  
調査・品質確保課長 田木 康熙  
TEL 0883-72-0034

# 平成22年度 土砂災害防止月間について

毎年各地で土石流・地すべり・がけ崩れ等の激甚な土砂災害が頻発し、人命・財産に甚大な被害が発生しています。

この様な現状に対し、国土交通省・都道府県では土砂災害の防止及び軽減に関して、国民の関心と認識を深めるため、昭和58年度より毎年6月1日から6月30日までを「土砂災害防止月間」として、防災知識の普及・警戒避難体制整備の促進等に努めています。

平成22年度におきましても、別添-1の実施要領により、各種行事及び活動を全国的に実施することとしており、四国地方整備局におきましても関係各機関と協力をとりながら、下記の活動計画により積極的な活動を展開することとしております。

なお、土砂災害防止月間の諸行事につきましては、各都道府県においても実施することとなっておりますので、申し添えます。

## 平成22年度 土砂災害防止月間活動計画

(四国山地砂防事務所)

1. ポスター、チラシ等による広報（6月1日～30日）  
ポスターを関係7ヶ市町村（徳島県三好市、高知県大豊町、本山町、土佐町、大川村、いの町、愛媛県東温市）市役所・役場・公民館等で掲示。  
地域住民へのチラシの配布。
2. 懸垂幕、のぼり等による広報（6月1日～30日）  
事務所・重信川砂防出張所・吉野川砂防出張所・祖谷監督官詰所・大豊監督官詰所・関係7ヶ市町村役場で掲示。
3. 土砂災害パネル展の開催  
別添-2の月間行事予定により4ヶ所にて巡回展示を行う。
4. 砂防学習会の開催  
小学生を対象に3校で実施する。  
(別添-2参照)
5. 土砂災害防止月間イベント  
別添-3のとおり高知県と共催の上、土砂災害防止月間イベントを行う。  
(6月20日)

## 平成22年度「土砂災害防止月間」実施要領

### 1 目 的

近年頻発する土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害による人命、財産の被害の現状にかんがみ、土砂災害防止に対する国民の理解と関心を深めるとともに、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制整備の促進等の運動を強力に推進し、土砂災害による人命、財産の被害の防止に資することを目的とする。

### 2 期 間

平成22年6月1日（火）から6月30日（水）まで

### 3 主 催

国土交通省、都道府県

### 4 後 援（予定）

内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本放送協会、(社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟、(社)全国治水砂防協会、(財)砂防・地すべり技術センター、(財)砂防フロンティア整備推進機構、NPO法人砂防広報センター、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、(社)斜面防災対策技術協会、(財)建設技術研究所、(社)建設広報協議会、砂防ボランティア全国連絡協議会

### 5 運動のテーマ

みんなで防ごう土砂災害

## 6 実施内容

### (1) 重点事項

自然災害による犠牲者数は、これまでの砂防事業等の効果により減少してきましたが、いまだに毎年のように土砂災害による犠牲者が発生しています。

昨年の全国の土砂災害による犠牲者は22名を数え、とりわけ、平成21年7月中国・九州北部豪雨では21名が犠牲となり、このうち山口県防府市において14名もの土砂災害による犠牲者が生じました。特に、防府市の特別養護老人ホームを襲った土石流では7名のお年寄りが犠牲となり、災害時に避難が困難な人々を襲う土砂災害の悲惨さに注目が集まり、土砂災害対策の重要性が改めて認識されることとなりました。

土砂災害の防止及び被害の軽減のためには、①施設整備によるハード対策の推進とともに、②土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定による土砂災害危険箇所の増加抑制、③警戒避難体制の整備等によるソフト対策の推進が重要である。これら、3つを柱とした土砂災害対策の推進にあたっては、行政と住民が常に情報を共有し、行政側の「知らせる努力」と住民側の「知る努力」が不可欠であり、日頃から地域コミュニティにおける協力体制の維持・強化を図り、土砂災害対策の理解を深めるとともに地域防災力を向上させることが肝要である。

こうした現状を踏まえ、平成22年度土砂災害防止月間は、行政のみならず住民参加を主とする諸行事及び活動に重点を置き、住民や砂防ボランティア等の市民団体と連携を図り、関係団体の緊密な協力を得て以下の施策を念頭に置いて実施するものとする。

- 1) 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づく土砂災害警戒区域等の指定の推進
- 2) 土砂災害警戒区域等、土砂災害危険箇所及び避難場所・避難経路等の周知・点検の徹底
- 3) 情報の収集・伝達、共有化の推進
- 4) 土砂災害警戒情報を活用した警戒避難体制の構築推進

- 5) 災害時要援護者の避難支援体制の整備推進
- 6) 自主防災組織等との連携強化
- 7) 砂防設備等の点検及び砂防指定地等の周知・点検の徹底
- 8) 土砂災害に関する防災教育、啓発活動の強化

(2) 主な実施内容

1) 土砂災害防止「全国の集い」の開催

土砂災害防止「全国の集い」を6月9日(水)に広島県広島市、現地研修会を6月10日(木)に広島市、呉市、廿日市市内等において実施する。

2) 土砂災害防止功労者の表彰

土砂災害の防止について、顕著な功績があった個人または団体を表彰する。

3) 土砂災害防止に関する絵画等・作文の募集、表彰

全国の小・中学生を対象に、絵画等・作文の募集を行い、表彰する。

4) がけ崩れ防災週間の実施

6月1日(火)から6月7日(月)までの一週間をがけ崩れ防災週間とし、がけ崩れ災害の防止に重点を置いて関係する行事及び活動を実施する。

5) 第5回「土砂災害・全国統一防災訓練」の実施

土砂災害に対する警戒避難体制の強化を図るため、都道府県と市町村、気象台、警察、消防、自衛隊等の関係機関や地元自主防災組織等と連携して、住民参加の訓練を実施することが重要である。地方の自主性を尊重しつつ、一方では実施日を統一して欲しいという声があることにも配慮し、第5回「土砂災害・全国統一防災訓練」を6月6日(日)に実施する。訓練終了後には、住民、自主防災組織等を対象とした土砂災害に関する講習会等を開催する。特に、これ

まで被災実績のない地域等においては、土砂災害の発生実態と土砂災害警戒情報に関する理解と知識取得が推進するように配慮する。また、平成21年の土砂災害で改めて認識された災害時要援護者関連施設での避難訓練を重点的に実施する。

6) 土砂災害警戒区域等、土砂災害危険箇所及び避難場所・避難路等の周知・点検の実施

土砂災害ハザードマップ等により土砂災害警戒区域等、土砂災害危険箇所及び避難場所・避難路等について住民に周知するとともに、住民、砂防ボランティア等の市民団体、警察・消防等の関係機関との連携による点検活動を実施する。

7) 災害時要援護者の把握及び説明会等の開催

在宅の災害時要援護者及び災害時要援護者関連施設の避難支援に資するため、防災部局、福祉関係部局、教育関係部局等と連携し、あらかじめ在宅の災害時要援護者及び災害時要援護者関連施設の把握に努めるとともに、特に、災害時要援護者関連施設の施設管理者に対する講習会等による土砂災害関係情報の提供や情報伝達体制の整備等を実施する。

8) 砂防設備等の点検及び砂防指定地等の周知・点検の実施

砂防設備、急傾斜地崩壊防止施設及び地すべり防止施設の定期巡視点検及び安全利用に資する点検を住民、砂防ボランティア等の市民団体、警察・消防等の関係機関との連携により実施する。併せて、砂防指定地、急傾斜地崩壊危険区域及び地すべり防止区域についても住民への周知・点検を実施する。

9) 教育関係者、小・中学生等を対象とした講習会・見学会等の開催

土砂災害の恐ろしさやその対策の必要性等を正しく認識するため、教育関係者、小・中学生等を対象とした防災教育、啓発活動として講習会・現場見学会等を開催する。

#### 10) 土砂災害に関する広報活動の実施

- ① 市町村等の広報誌・ホームページへの掲載、懸垂幕、ポスターの掲示等による広報を広く実施する。
- ② 道の駅、コンビニエンスストア等との連携による広報や、「土砂災害110番」等の防災情報窓口の周知を実施する。
- ③ 講演会、見学会等を市民団体等と連携して実施するなど、地域の実状に応じた効果的な方法で実施する。
- ④ 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等の報道機関の協力を得た広報を積極的に実施する。

平成22年度 土砂災害防止月間 行事予定表

月 日	曜日	土砂災害パネル展示	砂防学習会	その他の活動	月間全体行事概要
5月31日	月	徳島県三好市西祖谷山村 かずら橋イベント広場			● 横断幕・懸垂幕・のぼり掲示 (事務所, 市町村役場)  ● 土砂災害防止月間ポスター掲示 (市町村役場, 公共機関)
6月1日	火				
2日	水				
3日	木				
4日	金				
5日	土				
6日	日				
7日	月	高知県長岡郡大豊町 総合ふれあいセンター(ロビー)			
8日	火				
9日	水				
10日	木				
11日	金				
12日	土				
13日	日				
14日	月	高知県長岡郡本山町 プラチナセンター(ロビー)	土佐町 土佐町小学校 対象児童数 27名程度 大豊町 大豊小学校 対象児童数 13名程度		
15日	火				
16日	水				
17日	木				
18日	金				
19日	土				
20日	日			土砂災害防止月間イベント (イオンモール高知)	
21日	月	愛媛県東温市 東温市中央公民館(ロビー)			
22日	火				
23日	水				
24日	木		三好市東祖谷 名頃小学校、菅生小学校(合同) 対象児童数 7名程度		
25日	金				
26日	土				
27日	日				
28日	月				
29日	火				
30日	水				

## 平成22年度 土砂災害防止月間イベント

- 1 : 目的  
土砂災害防止に県民の理解と関心を深めるとともに土砂災害に関する防災知識の普及を図る。
- 2 : 会場  
イオンモール高知専門店街1Fセントラルコート及び東側駐車場
- 3 : 開催日時  
平成22年6月20日(日) 10:00～17:00
- 4 : 主催  
高知県  
国土交通省四国地方整備局四国山地砂防事務所  
気象庁高知地方气象台  
全国治水砂防協会高知県支部
- 5 : イベント内容
  - セントラルコート
    1. パネル展
    2. 土石流体験模型
    3. 土砂災害に関するアンケート
  - 東側駐車場
    1. 降雨体験装置「大粒くん小粒ちゃん」による降雨体験
    2. 土石流3D体感シアターによる土石流疑似体験